

令和3年度 学校評価報告書（目標設定・実施結果）

視 点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価（3月31日実施）	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等	（3月11日実施）	成果と課題	改善方策等
1 教育課程・学習指導	<p>①生徒が自ら課題を発見し、探究する意欲を高めることのできる教育課程の編成や特別活動の精選・充実に取り組む。学校行事や生徒会活動等の精選と充実を図り、生徒の主体的な活動を支援するとともにそのユニバーサルデザイン化をはかる。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出し、個々の生徒に応じた教科指導体制の構築と評価法の研究を行い、組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①新教育課程の最終調整を行うとともに実施にあたっての準備を適切に推し進める。新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、生徒会行事を可能な限り実施できるように企画運営していく。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出し、生徒が「授業における充実感」を感じられるよう授業改善に取り組む。</p>	<p>①新教育課程に関する県の要望書の最終確認を行い、次年度の運用に向けた準備、調整を行う。【教務】</p> <p>感染防止対策や校舎耐震工事等の制約の中で、足高祭や球技大会など主要行事をいかに安全に実施するか、その規模や内容を精査検討し、行事を通して生徒が主体的に行動し連帯を深められるように支援する。【生徒会】</p> <p>②ICT機器の活用や対話的な学びを推進するとともに、優れた授業実践や教材を共有するための教員相互の情報共有や授業見学会を推進する。【教務】</p>	<p>①次年度に向け適切な運営ができるよう準備ができたか。【教務】</p> <p>感染防止対策や校舎耐震工事などを踏まえて実施できたか。生徒会本部や各種委員会などを通じて、生徒の主体的な行動を引き出すことができたか。【生徒会】</p> <p>②教員相互の情報共有や研修会を適切に計画することができたか。また生徒による授業評価における「授業の充実感」「生徒主体の授業の工夫」の項目でよい評価が得られたか。【教務】</p>	<p>①新教育課程完成に向け県との調整を行うとともに、学校設定科目の申請を行なった。また運用に向けては教科書、副教材の登録申請、販売、準備にむけて書店と調整を行った。【教務】</p> <p>生徒会行事の中でも最大規模となる足高祭(文化祭)は、4月以来時差通学・短縮授業の制約のある中、生徒会本部や実行委員会を中心に準備を進めてきた。しかし、8月2日発令の緊急事態宣言の延長に伴い、9月中は分散登校となり、他の行事日程との関係から、解除後の準備再開と安全な実施は難しく、2年連続で中止となった。その後の緊急事態宣言解除により、12月には球技大会を実施することができた。まん延防止重点措置下ではあるが、3月の春季球技大会実施に向けて準備している。【生徒会】</p> <p>②ICT機器の活用についてはオンライン授業もあり、ほとんどの職員が取り組みを行った。授業研修に関しては、10月から11月に計画し実施した。授業評価においても多くの科目において高評価を得ている。【教務】</p>	<p>①新教育課程の2、3年生における実施科目の最終調整を行っていききたい。また異なる教育課程が同時に展開されることを踏まえ、問題点を予想し事前の準備をしていきたい。【教務】</p> <p>足高祭の実施に向けて、クラスや文化部などの意識が日に日に高まり、主体的な行動が見られていただけに残念な結果となった。今後のことは予想ができないが、来年度の実施に向けて、規模・内容を検討し、柔軟な対応・準備を進めていきたい。【生徒会】</p> <p>②ICT機器をただ利用するだけでなく、どう使うかのノウハウを共有することで職員全体のスキルアップにつなげたい。【教務】</p>	<p>①可能な限り行事が開催できることを願っている。生徒どうしの仲間意識やコミュニケーションは不足していないか。高校生活におけるイベントが軒並み中止になったことは、生徒、保護者にとっても残念であった。</p> <p>②ICT機器の活用方法の共有をしてほしい。授業評価では質問項目2の評価が低い科目があるので検証、改善を願う。第1回より第2回の方が高い授業評価となっているのは大きな成果である。新学習指導要領実施となるので、組織的な授業改善と授業力向上に取り組んでほしい。</p>	<p>①多様な進路希望に配慮した教育課程を作成し、学校設定科目の申請を行った。個々の教科目標を達成すべく授業改善に取り組む。【教務】</p> <p>コロナ感染状況の推移を注視しながら、来年度は足高祭を安全性を十分に確保して実施する方策を検討したい。生徒の経験やコミュニケーションの不足を補うべく、各行事において生徒会本部や各種委員会を積極的に活用していきたい。【生徒会】</p> <p>②優れた授業実践や教材、ICT機器の使用方法を共有するための教員相互の情報交換、授業見学会を推進する。全体の中で評価の低い項目については原因を解明し改善策を共有する。【教務】</p>	<p>①生徒の課題解決力や学ぶ意欲を育むための新学習指導要領の方針を十分に理解し、授業改善に取り組む。【教務】</p> <p>コロナ感染状況の推移を注視しながら、来年度は足高祭を安全性を十分に確保して実施する方策を検討したい。生徒の経験やコミュニケーションの不足を補うべく、各行事において生徒会本部や各種委員会を積極的に活用していきたい。【生徒会】</p> <p>②優れた授業実践や教材、ICT機器の使用方法を共有するための教員相互の情報交換、授業見学会を推進する。全体の中で評価の低い項目については原因を解明し改善策を共有する。【教務】</p>
2 生徒指導・支援	<p>①部活動の活性化を推進し、協調性と責任感の涵養を図る。</p> <p>②生徒指導と生徒支援の一体化を推進し、教育相談体制の充実と外部連携を進めるとともにユニバーサルデザイン化を図る。</p>	<p>①部活動の活性化のため加入率の向上と充実感の育成につながる継続的な支援体制整備に努めるとともに、学業との両立を推し進める。</p> <p>②各学年が生徒の課題を的確に把握し、個に応じた指導と支援が一体化した、きめ細やかな生徒支援を進める。</p>	<p>①新入生の部活動加入促進の方法を検討、改善するとともに、中学生対象の部活動体験・見学などを通して、次年度入学希望者への働きかけを実施する。【生徒会 情報管理】</p> <p>②多様な生徒の様々な課題・ニーズに対ししっかりと情報共有を図り、組織として、多角的な支援を迅速かつ適切に展開する。【生徒支援】</p>	<p>①部活動加入率低下に歯止めがかかったか。途中退部に係る分析や対応策を検討できたか。学業とのより良い両立を目指した支援が行えたか。【生徒会 情報管理】</p> <p>②ケース会議等の取組が支援の必要な生徒の指導に生かせ、迅速で適切な課題解決につながったか。【生徒支援】</p>	<p>①まん延防止重点措置の下、例年4月に行っていた部活動紹介、見学会を実施することができた。新入生の加入率は73.2%と高く、全体で64.3%の加入となり、前年(59.6%)を上回る結果となった。校舎耐震工事に伴う部活動への影響については、主に活動場所の調整に見られたが、各々の工夫により維持されている。【生徒会】</p> <p>オープンスクールでは部活動紹介パネルを作成し、中学生に部活動のPRを行った。また、新しい工夫として当日不在の部活動に動画を作成してもらった。この動画は説明会時のPRにも活用した。【情報管理】</p> <p>②多様な生徒への支援のため学年会・G会議等で情報共有に努め、複数回ケース会議も開催した。分散登校という状況をはさみながらもできる限り迅速かつ適切な対応に努めた。各学年・教科と養護教諭・サポートティーチャー等と連携して様々な事案に対応した。【生徒支援】</p>	<p>①各部とも大きな離退部はなく、概ね4月当初の規模で活動できている。中学生対象の部活動体験・見学などが緊急事態宣言発令により実施できなかったことが、来年度新入生にどのように影響するかわからない。今後も中学生への啓蒙を図れる方策を考えていきたい。【生徒会】</p> <p>予定していた部活動体験・見学会は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となったので、次年度は是非実施したい。Web上で積極的にPRしたいが個人情報保護の観点より工夫が必要である。【情報管理】</p> <p>②生徒の抱える問題が多様化し心理的要因も増えてきている。よりいっそうの情報共有や外部機関との連携等が必要になると考えられる。保護者とのより緊密な連携も重要な課題となっている。また、登下校時などの生徒の交通安全意識や社会規範意識の涵養が課題となっている。【生徒支援】</p>	<p>①新入生の部活動加入率の向上は良いことである。部活動で学校選びをする中学生もいるので、HPを活用した部活動のPRなど中学生がみられるシステムが構築されるとよい。個人情報に気を付けながら、効果的なHPでの発信に努めてほしい。序列や礼儀を学ぶ上で、部活動に力を入れることは良いと思う部活動の活性化が生徒の成長にとって妥当なものなのか気になっている。②関連機関との連携だけでなく、発生予防の対策など校内での対応もお願いしたい。</p>	<p>①部活動の規模や活動は、制約を受けながらも大きな混乱もなく継続できた。新入生の部活動加入の上昇傾向が2～3年続いてみないとわからないが、途中退部が少ないことも必要である。学習だけでは学べないことも多く、活性化に取り組んでいきたい。【生徒会】</p> <p>高校について知りたい内容を問うと部活動が最上位であった。コロナ禍では効率の良いPR方法が必要である。【情報管理】</p> <p>②ケース会議等を開催し、SC・児相・警察等とも連携して組織的な支援体制で対応できた。また、SNSのマナーや交通安全について啓蒙活動や交通安全指導を実施できたが、継続的指導に課題が残った。【生徒支援】</p>	<p>①感新型コロナへの予断を許さない中だが、4月に部活動紹介、部活動見学会を実施して、新入生への啓蒙に努めたい。また、中学生対象のオープンスクールや部活動体験・見学会などを積極的に活用していく。【生徒会】</p> <p>染対策を講じ、中止せずに中学生向けの部活動体験会を実施するよう努力する。また、部活動の最新の情報をHP等で発信する。【情報管理】</p> <p>②情報の共有化と組織的な支援体制をより充実させていく必要がある。携帯電話教室や日常的な啓蒙活動により適切なSNSの利用、スマートフォン利用、交通安全についての指導を継続していく必要がある。【生徒支援】</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月11日実施)	総合評価(3月31日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①生徒自身が考え、体験をするなど、主体的に取り組むキャリア教育を計画的・段階的に実践する。 ②「実践推進校」として、生徒一人ひとりの社会接続を実現するために、ていねいな進路支援を行う。	①生徒一人ひとりの進路実現に向け、進路開拓につながる学習意欲の喚起を図るとともに、生徒の主体的な進路実現の動きを促す指導体制づくりを進める。 ②特別募集で入学した生徒の社会接続に組織的に取り組む。	①校内での情報共有や進路データの有効活用を進め、複雑化する入試制度に対応できるよう、的確な情報提供を行い、生徒が自らの進路開拓に挑戦できるよう支援する。 【進路】 ②「進路実践」の3年間の内容や流れについて系統的整備を進めるとともに、組織づくりをすすめて、生徒個々の希望を踏まえた幅広い実習・体験先の開拓を行う。また、目標達成に向けた人員配置を行う。 【進路】	①生徒の進路目標を明確にし、安易な進路選択に向かわせないような指導が実施できたか。 ②系統的な授業づくりを進め、連携生徒の個々の希望を踏まえた社会接続が実現できたか。	①3年生については、進路ガイダンスと進路面談を連動させ、最新情報をもとに生徒自身が進路希望を明確化具体化できるよう支援した。外部模擬試験時や出願指導時等定期的に面談指導を行い学習意欲の喚起に努めた。1・2年生については、外部講師による対面でのガイダンスや体験授業がよい刺激となり、将来へのビジョンを考え準備する動機づけとなった。 ②進路G、教科担当者、実習担当者、担任が連携することで、生徒個々の進路に合った指導を組織的に進めることができ、3年生全員が希望の進路に進むことになった。	①感染症対策のため、医療系幼児教育系の体験学習が実施できない状況が今後も続くことが考えられる。本校だけでは対策が難しいので、地区の高等学校全体で協力して対応していく必要がある。生徒の職業理解を深めるための対策が課題である。 ②蓄積してきた「進路実践」の取り組みを継承し、引き続きていねいな進路支援を行う。そのために組織づくりにさらに力を入れていく。	①今後も丁寧な進路指導をお願いしたい。 高1、2年の段階で将来のビジョンがはっきりとしている生徒が少なくない気がする。 HPの進路状況では、4年制大学への進学が増えている。ガイダンスや体験指導の成果が伺える。 ②希望通りの進路に進めてよかった。 特別募集で入学した生徒を対象とした実習について、引き続き協力していきたい。	①早期の出願指導により一般選抜の大学合格者数が増加し、大学進学者が60%を超えた。3年生は面談等の丁寧な指導により安易な進路選択をする生徒が減少したが、1・2年生については進路に対する意識づけを強化する必要がある。 【進路】 ②特別募集生徒に対する進路支援の形を確立することができたのでしっかりと継承していく。 【進路】	①ガイダンスや説明会だけでなく、進路指導室の利用や進路情報の掲示板の活用等、他の情報発信方法を工夫する。 【進路】 ②職業技術校や就労支援施設、企業等との定期的な連携を継続する。 【進路】
4	地域等との協働	①地域に情報発信するとともに、生徒の地域理解と地域貢献を通じ、連携と協働を推進する。 ②地域と連携して、地域防災を推進する。	①本校の魅力の発信のためにHPやデジタルコンテンツの充実を図る。様々な外部の意見を聴取し、学校運営に活かす。 ②防災関係のマニュアルの周知を徹底するとともに防災教育を推進し、総合的な防災体制を強化する。	①地域のニーズ、中学生及びその保護者の進路選択の実際等、情勢分析を行い、生徒の生き生きとした活動を情報として提供する。 【情報管理】 地域との連携を推進する。 【管理運営】 ②災害に対処する実践的な訓練を計画実施する。 【管理運営】	①HPの定期的な更新や学校説明会等で、情報の質と量の確保、的確な情報提供と丁寧な対応ができたか。 【情報管理】 地域との連携を推進できたか。 【管理運営】 ②南足柄市と協議を継続し体制整備が進められたか。 【管理運営】	①HPの更新を積極的に行った。説明会では丁寧な説明を心掛け、生徒による説明にも力を入れた。また、参加できなかった方のために一定期間当日の動画配信を行った。 【情報管理】 各行事において、今年度は地域との連携は不十分であった。 【管理運営】 ②年2回全校避難訓練を実施した。DIG訓練では土砂災害警戒区域に位置する本校の特性について理解を深めることができた。 【管理運営】	①HP全体をさらに見やすくなるよう構成を検討する。また新たな情報発信の手段を研究する。説明会では、知りたい情報を得ることが出来たかを来場者アンケートで把握し、必要な情報を提供できるようにする。 【情報管理】 次年度以降は、各行事において地域との連携を図っていきたい。 【管理運営】 ②火災避難訓練では足柄消防署と連携して通報訓練を行った。今後は地域との連携も図りたい。 【管理運営】	①コロナ禍での情報発信方法は限られるが継続を。 災害時にはまず自分を守る、その次の段階として「貢献」という考え方がある。地域との協働として一歩踏み込んでもらいたい。 ②防災訓練は続けて中止となることは避けてほしい。オンラインを活用した地域との協働を検討してほしい。	①説明会では、丁寧に説明内容の重複があり、各回での説明内容の再考が必要である。HP閲覧をする中学生数が増加したので一層の情報発信に努める。 【情報管理】 ②感染予防に努め、全校避難訓練を実施することができた。土砂災害警戒区域に位置する本校の特性を理解することができた。 【管理運営】	①説明会や学校案内とWebページを連動させた情報提供を考える。Webページ作成システムを更新頻度が上がるように改善する。 【情報管理】 ②今後は南足柄市や地域との連携を図り、オンラインの活用も検討しながら、地域と協働し、防災教育を推進していききたい。 【管理運営】
5	学校管理・学校運営	①学校全体で教育環境に対する課題を共有し、組織的・計画的に改善していく体制を整える。 【管理職】 ②不祥事防止に努め、実効性のある組織的な取り組みを行う。 【管理職】	①魅力と特色づくりのための会議を設置し、学校課題を職員一丸となって把握し解決に向かう意識を醸成するとともに、効果的な業務遂行に向けた働き方改革を推進する。 【管理職】 ②教職員一人ひとりが自覚と誇りをもち、全校体制で不祥事防止の徹底に引き続き取り組む。 【管理職】	①協働によるメリットの最大化に向けたスローガンを設定し新規に設置した会議の中での協議を通じて、学校課題の解決に向けた具体的なプランを練り上げる。 【管理職】 ②教職員の意識向上とコンプライアンスマニュアルを活用した効果的な不祥事防止研修、不祥事防止会議を計画的に実施し、不祥事ゼロプログラムを着実に実施する。 【管理職】	①本校の魅力と特色の明確化や、課題解決に向けた働き方改革の道筋について、職員間での共有ができたか。 【管理職】 ②不祥事防止研修等の定期的な実施により、事故・不祥事を未然に防止できたか。 【管理職】	①『魅力と特色づくり検討会議』を5回開催する中で、本校の強みと弱みの分析を行った。中学生やその保護者が本校に期待している項目を洗い出したりすることで、今年度にやるべき事柄について検討し、議論を深めた。 【管理職】 ②月に一度のテーマを設定した不祥事防止研修、また、わいせつ事案の根絶を目的とした職場討議や動画を活用した研修をとおり、不祥事防止の啓発に努めた。 【管理職】	①今年度にやるべき事柄については協議できたが、長期的展望を見据えたうえで、令和4年度以降の達成目標の設定と工程表の作成にまでは至らなかった。来年度も、引き続き協議を重ね、足柄高校の魅力を最大限に引き出すためのさまざまな具体策を提案していきたい。 【管理職】 ②今後も、職員一人ひとりが不祥事を自分事として考え行動できるよう、討議などを盛り込んだ研修を継続して実施し、不祥事防止の啓発を図っていく。 【管理職】	①魅力と特色会議で明らかになった「強み」などをHPで発信したらどうか。また、5回の開催で議論を深めたことは有意義である。足柄高校の特色や強みを大切に学校運営をお願いしたい。 ②足柄高校開校時から見えてきているが、最近では、不祥事は開かなくなり、挨拶の励行など生徒の質も上がっていると思う。今の状況を維持してほしい。	①『魅力と特色づくり検討会議』の中で、短期目標と長期目標を設定し、今後の見通しを立てることができた。 【管理職】 ②朝の打合せや月に一度の不祥事防止研修を通して、不祥事を未然に防ぐことができた。 【管理職】	①長期的目標に基づいた短期目標の実現に向けて、さらに議論を深めていく。また、本校の強みを把握した上で、魅力と特色をHP等で発信していく。 【管理職】 ②全体で行う研修以外にも、グループ討議などを取り入れた研修も計画していく。管理職面談など個々の教職員と対話をする機会を設けていく。 【管理職】